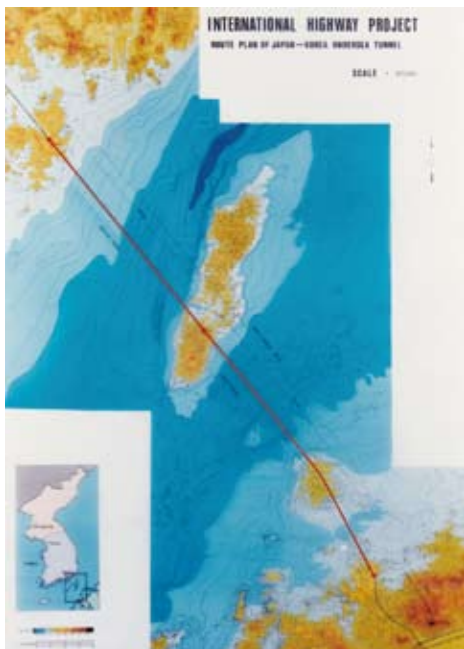


恒久のシルクロード

日韓を結ぶ海底トンネル

日韓トンネルプロジェクト



▲日韓トンネル想定ルート

日韓新時代 への旅立ち



▲唐津・調査斜坑現場から加部島方向を望む



▲九州本土と壱岐間を結ぶ橋梁案



▲リニア・モーターカーと道路の併用案

九州・唐津～壱岐～対馬～韓国・巨済島を望む



▲展望台から浅茅湾を望む対馬島(左)と岳ノ辻から郷ノ浦を望む壱岐島(右)



▲韓国・巨済島（建設中の釜山と巨済島を結ぶ橋）

写真の長を調べる

日韓トンネル唐津調査斜坑現場 (佐賀県)

提唱以来、第1期～3期まで540mを掘削



▲第3期工事、540mまで掘削が進む。最終的には1200mまで掘削は行われ、そこから先進導坑が掘られる。



▲日本側始点となる日韓トンネルの調査斜坑現場 (佐賀県唐津市鎮西)



▲重機が導入され基礎杭が打設される (1986年)

第1期～2期・掘削現場状況



▲第1・2期工事410mまでが掘削される

日韓の関係者を集めて起
1996年10月

工式が盛大に挙行される

1300m用のウインチも導入・第3期工事現場状



▲起工式でテープカットする久保木修己・国際ハイウェイ建設事業団会長 (右3人目)、梶栗玄太郎・同理事長 (同2人目)、西堀栄三郎氏 (右)、佐々保雄氏 (中央)



▲掘削された土砂はズリ出し桟橋へ運ばれる